

主要事業の実施状況 (12月現在) を確認

産業建設委員会

1月27日に産業建設委員会を開催し、所管する本年度の主要事業の実施状況について、建設部及び水道部の各課から説明を受け、協議を行いました。

主な報告内容

○「筆の里工房周辺整備事業」

災害により業務が遅延していた平成30年度からの繰越分である基本設計及び測量設計業務は、令和元年度中の完了を予定している。さらに令和元年度は用地買収を完了しており、建物等の物件移転補償も契約を済ませ、3月末完了を予定している。



▲ 所管する事業が適正に計画どおり実施されているか確認しました。

○「熊野団地 污水管渠更生工事」

下水道改築事業として、東山地区で污水管渠布設替え工事を1件、石神地区で污水管渠更生工事を1件の計2件の工事を発注しており、ともに3月末までに完了を予定している。

当委員会では、所管する事業が年度当初の計画どおり、適正かつ円滑な事業運営がされていることを確認し、今後も公平な事業を実施するよう要望しました。

安全・安心な環境の整備を確認

文教委員会

1月29日に文教委員会を開催し、教育部に小中学校ブロック塀改修工事、ICT機器整備事業などの「2学期の主要事業の実績」を確認しました。また、学校体育館照明改修工事、学校施設長寿命化計画策定業務、小中学校トイレ改修工事、小中学校校内通信ネットワーク整備工事、町民グラウンド改修工事などの「3学期の主要事業の計画」について説明を受けた後、質疑を行いました。



▲ 小中学校に整備予定の多目的トイレのイメージ

主な質疑

- Q. 学校体育館照明改修工事で、熊野第四小学校は、業者すべてが入札において最低制限価格を下回り不調となっているが、調査を行ったのか。
- A. 今回の入札結果を踏まえ業者から参考見積もりを徴取するなど、適正価格で設計をしていく。
- Q. 文部科学省の資料で学校グラウンドの排水設備の補助があったと思う。熊野第三小学校は水はけが悪いが、学校施設長寿命化計画において何か考えているか。
- A. 建物メインの計画となり、グラウンドは入っていない。建物優先で整理をしていきたい。
- Q. 小中学校校内通信ネットワーク整備で、職員室の情報漏洩の心配はないか。
- A. 文部科学省が示しているセキュリティレベルでの整備を考えている。

今後も事業の進捗状況や計画について説明を求め、子どもたちが、安全に安心して過ごすことができる環境整備となるよう協議・要望していきます。

追跡

ありやあ どうなったんかいの?

No. 1

今号より、このシリーズを始めました。

町民の皆様が、気になることを採り上げて行きたいと思っています。ご期待ください。

第一弾は「筆の里工房周辺整備事業」です。

この事業は、第4次総合計画（平成13年～）、現在進行中の第5次総合計画（平成23年～）の中に組み込まれています。

具体的には、平成27年3月議会において、町長が施政方針で「筆文化を生かした観光推進事業」として説明したのが始まりです。

その後、年度が推移する中で、観光交流拠点施設としての整備が具体化してきました。

令和元年度には、用地の測量・調査、用地買収（3万3,100㎡）、基本設計を終えています。

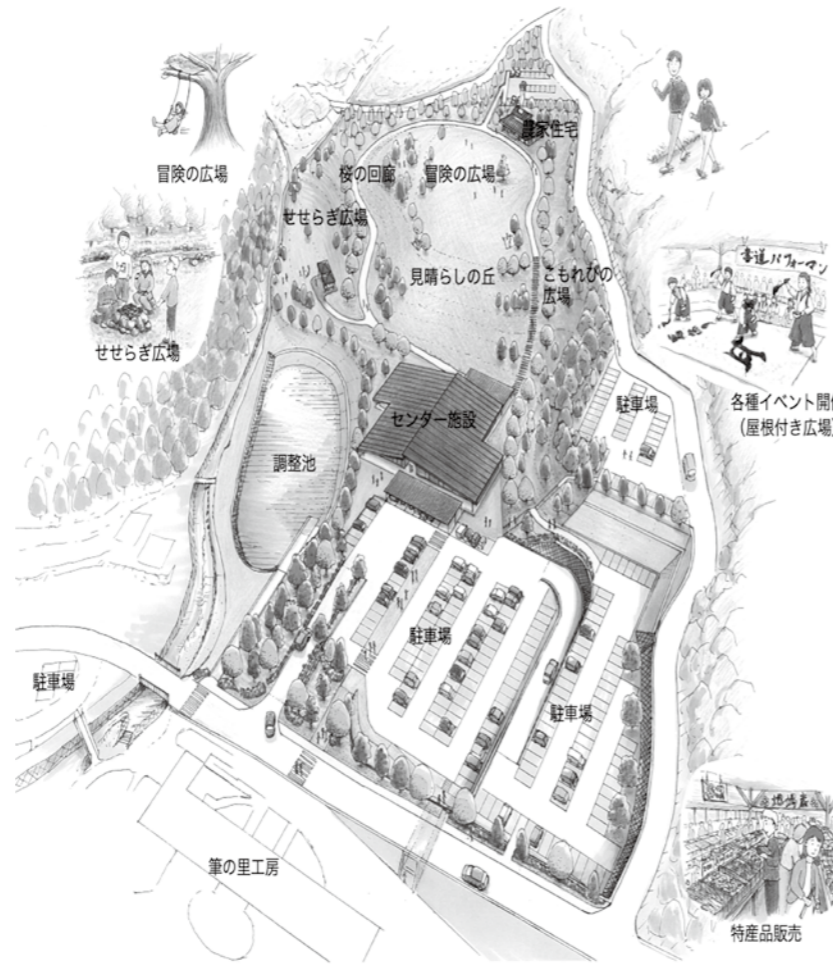
西日本豪雨災害の影響で事業が遅れていますが、令和2年度には実施設計を行い、翌年度着工、令和7年度の一部供用開始を目指して事業を進めています。

現段階での完成予想図は次のとおりです。

《整備施設》

- ・公園
- ・駐車場
- ・トイレ
- ・屋根つき空間
- ・体験交流・研修施設

将来的には、センター施設を利用して、各種イベントの開催や特産品販売等を進めることとしています。



筆の里工房周辺整備事業 整備イメージ

今月の表紙

新型コロナウイルスの影響で、小・中学校が一時休校になりました。そのような中で、今回は第一小学校児童クラブの様子です。